

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
 コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

上場取引所 東

(氏名) 高橋 久雄
 (氏名) 小池 敏雄
 配当支払開始予定日

TEL 0463-82-1311
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,648	△31.6	△439	—	△251	—	△377	—
21年3月期第2四半期	18,496	—	1,936	—	2,097	—	1,058	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△13.08	—
21年3月期第2四半期	38.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	38,935	26,873	61.0	821.75
21年3月期	37,810	26,105	61.9	809.82

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 23,739百万円 21年3月期 23,394百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	6.00	14.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△16.4	△100	—	150	△87.5	△150	—	△5.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 28,978,860株 21年3月期 28,978,860株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 90,000株 21年3月期 89,711株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 28,888,898株 21年3月期第2四半期 27,223,566株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産は持ち直しの動きがみられたものの、企業収益・設備投資の減少や雇用情勢の悪化など依然厳しい状況が続きました。世界経済におきましても、アジアを中心に持ち直しの動きが広がっているものの、米国や欧州の景気は依然低迷しており、引き続き深刻な状況にあります。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、在庫調整の進展やエコカー減税等の景気刺激策などにより回復の兆しが見られたものの、かつてない大幅かつ急激な需要減少の影響は深刻であり、前年同期に比べ極めて低い水準での推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、引き続き、生産体制の合理化や海外事業展開の推進などの諸施策を積極的に展開し、さらには、厳しい経営環境に対応すべく生産体制の見直しや様々なコスト削減等の施策を講じてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、自動車や船舶など関連する業界の需要低迷による受注の大幅な減少や為替換算の影響などにより、前年同期を大きく下回る、126億48百万円（前年同期比31.6%減）となりました。損益面につきましては、原価低減等による効果が減産・減収に伴う減益を補うにいたらず、営業損失は、4億39百万円、経常損失は、2億51百万円、四半期純損失は、3億77百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

〔自動車用部品〕

当事業におきましては、北米子会社の連結効果による増収要因はあったものの、世界的な自動車需要の低迷や為替換算の影響により、前年同期に比べ大幅な減収となりました。

製品別の業績としましては、四輪車用エンジンバルブにつきましては、国内外において需要回復の兆しが見られ、また一部のエコカー向け製品は好調に推移したものの、欧米需要の低迷やモータースポーツ用製品の激減により前年同期に比べ大幅な減収となりました。二輪車用エンジンバルブにつきましては、需要の低迷から国内生産は極めて低い水準で推移し、アジア生産拠点においては、持ち直しの動きが見られるものの需要の回復には至らず、また為替換算の影響により大幅な減収となりました。自動車用精密鍛造歯車につきましては欧米需要の低迷により、バルブリフターにつきましては韓国関連会社の連結除外や需要の低迷により、NT-VC Pにつきましては北米需要の低迷により、それぞれ減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、102億66百万円（前年同期比29.9%減）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、1億32百万円となりました。

〔その他〕

当事業におきましては、当事業製品の関連業界における需要低迷や在庫調整により大幅な減収となりました。

製品別の業績としましては、陸上および船舶用エンジンバルブにつきましては、海運・造船市場の低迷により補給部品等の船舶関連製品が大幅な減収、汎用製品についても北米における需要低迷により減収となりました。精密鍛造歯車につきましては、欧米向け産業機械用製品の需要低迷により減収となりました。機械設備につきましては、アジア生産拠点への販売減少により減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、24億5百万円（前年同期比45.7%減）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、2億69百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

〔日本〕

当社グループの主要な事業拠点である当所在地におきましては、景気の持ち直しの動きが一部で見られるものの、自動車、船舶、産業機械等の関連する各業界における国内外の需要は依然低迷しており、前年同期に比べ極めて低い水準での推移となりました。

自動車用エンジンバルブにつきましては、一部のエコカー向け製品は好調に推移したものの、欧米向け製品やモータースポーツ用製品の減少により大幅な減収となり、とりわけ二輪車用エンジンバルブについては、前年同期に比べ半分以下の水準となりました。陸上および船舶用エンジンバルブにつきましては、市場の冷え込みによる製品需要の低迷により軒並み減収となりました。バルブリフター、精密鍛造歯車、NT-VC Pにつきましても海外向け製品の需要低迷によりそれぞれ減収となりました。

この結果、当所在地の売上高は、89億68百万円（前年同期比37.2%減）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、8億30百万円となりました。

〔アジア〕

当所在地におきましては、総じて持ち直しの兆しが見られるものの需要の回復には至らず、また為替換算の影響により、前年同期に比べ半分以下の売上高となる極めて低い水準での推移となりました。

自動車用エンジンバルブの生産拠点である台湾、タイ、インドネシアにおいては、いずれも前年同期を下回る大幅な減収となりました。なお、バルブリフターの生産拠点であった韓国におきましては、前第2四半期に株式の一部を売却したことにより同国における関連会社を連結除外としていることから減収となっております。

この結果、当所在地の売上高は、22億50百万円（前年同期比54.7%減）、営業利益は、減産・減収の影響などにより、4億36百万円（前年同期比64.4%減）となりました。

〔北米〕

自動車用エンジンバルブの生産拠点である当所在地におきましては、景気の低迷により自動車需要は依然低迷しておりますが、前第3四半期より米国における関連会社の持分を増加し連結対象子会社といたしました。これにより、同社の損益計算書を取り込むこととしたため増収となりました。

この結果、当所在地の売上高は、16億12百万円（前年同期比532.7%増）、営業損失は、減産・減収の影響などにより、47百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、389億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億24百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は、139億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億93百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が2億58百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、249億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億31百万円の増加となりました。この主な要因は投資有価証券が11億70百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債は、81億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億4百万円の増加となりました。この主な要因は買掛金が5億5百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、38億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億52百万円の増加となりました。この主な要因は繰延税金負債が3億65百万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部では、268億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億68百万円の増加となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が4億57百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は16億95百万円となり前連結会計年度末と比較して2億58百万円増加しました。

営業活動により得られた資金は、15億82百万円となりました。その主な要因はたな卸資産の減少により資金が得られたことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、11億1百万円となりました。その主な要因は有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動により得られた資金は、3億28百万円となりました。その主な要因は長期借入金の返済による支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想は、当第2四半期の実績と今後の受注動向から修正しております。詳細につきましては、平成21年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異などの発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却方法で定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

⑤経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(4) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,747	1,437,395
受取手形及び売掛金	5,513,548	5,334,252
商品及び製品	1,574,018	1,612,387
仕掛品	1,063,044	1,103,569
原材料及び貯蔵品	1,947,520	2,213,556
繰延税金資産	700,220	353,076
その他	1,487,603	1,332,545
貸倒引当金	△3,098	△1,679
流動資産合計	13,978,605	13,385,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,379,100	5,543,853
機械装置及び運搬具(純額)	5,928,586	5,963,672
土地	2,228,647	2,190,435
建設仮勘定	798,688	1,037,148
その他(純額)	315,393	337,479
有形固定資産合計	14,650,416	15,072,590
無形固定資産		
のれん	1,089,737	1,225,955
その他	48,456	49,583
無形固定資産合計	1,138,194	1,275,538
投資その他の資産		
投資有価証券	8,311,377	7,141,049
出資金	940	940
長期貸付金	511,305	484,777
繰延税金資産	169,429	255,332
その他	174,957	195,194
投資その他の資産合計	9,168,009	8,077,294
固定資産合計	24,956,620	24,425,423
資産合計	38,935,226	37,810,526

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,146,904	2,692,790
短期借入金	3,013,808	2,884,874
未払法人税等	107,113	54,633
繰延税金負債	316,029	276,502
賞与引当金	343,744	377,490
役員賞与引当金	—	42,950
その他	1,252,450	1,646,172
流動負債合計	8,180,052	7,975,413
固定負債		
長期未払金	27,100	100,100
長期借入金	614,500	787,500
繰延税金負債	602,905	237,026
退職給付引当金	2,620,392	2,584,653
その他	16,636	20,203
固定負債合計	3,881,534	3,729,483
負債合計	12,061,587	11,704,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,958
利益剰余金	13,558,745	14,109,822
自己株式	△45,102	△45,023
株主資本合計	22,551,141	23,102,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,315,004	1,857,325
為替換算調整勘定	△1,126,686	△1,564,698
評価・換算差額等合計	1,188,318	292,626
少数株主持分	3,134,179	2,710,702
純資産合計	26,873,638	26,105,629
負債純資産合計	38,935,226	37,810,526

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	18,496,708	12,648,773
売上原価	15,273,064	11,872,606
売上総利益	3,223,644	776,167
販売費及び一般管理費	1,286,858	1,215,430
営業利益又は営業損失(△)	1,936,785	△439,263
営業外収益		
受取利息	28,232	14,847
受取配当金	100,654	133,122
持分法による投資利益	—	69,926
為替差益	20,897	—
雑収入	44,463	23,969
営業外収益合計	194,247	241,866
営業外費用		
支払利息	27,118	31,718
手形売却損	823	—
為替差損	—	13,128
雑損失	5,134	9,557
営業外費用合計	33,076	54,404
経常利益又は経常損失(△)	2,097,956	△251,801
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,515	—
固定資産売却益	4,829	7
投資有価証券売却益	—	42,830
関係会社株式売却益	32,241	—
特別利益合計	42,586	42,838
特別損失		
固定資産売却損	25,648	310
固定資産除却損	29,173	1,351
本社工場再整備費	45,000	—
その他	—	2,000
特別損失合計	99,822	3,662
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,040,719	△212,626
法人税等	605,486	△57,971
少数株主利益	376,512	223,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,058,721	△377,742

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,225,978	6,713,757
売上原価	7,802,308	5,922,724
売上総利益	1,423,670	791,032
販売費及び一般管理費	649,705	606,768
営業利益	773,964	184,263
営業外収益		
受取利息	15,435	6,855
受取配当金	26,379	93,483
持分法による投資利益	—	28,373
為替差益	50,437	13,546
雑収入	31,162	15,674
営業外収益合計	123,414	157,933
営業外費用		
支払利息	15,496	15,760
手形売却損	765	—
雑損失	3,605	—
営業外費用合計	19,867	15,760
経常利益	877,511	326,437
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,515	—
固定資産売却益	125	—
投資有価証券売却益	—	42,830
関係会社株式売却益	32,241	—
特別利益合計	37,882	42,830
特別損失		
固定資産売却損	24,052	310
固定資産除却損	21,359	50
本社工場再整備費	34,473	—
その他	—	2,000
特別損失合計	79,885	2,361
税金等調整前四半期純利益	835,508	366,906
法人税等	313,255	58,757
少数株主利益	178,875	166,337
四半期純利益	343,377	141,811

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,040,719	△212,626
減価償却費	1,414,849	1,103,321
のれん償却額	—	136,217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,087	1,284
退職給付引当金の増減額(△は減少)	104,006	28,213
受取利息及び受取配当金	△128,886	△147,970
支払利息	27,118	31,718
持分法による投資損益(△は益)	—	△69,926
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△42,830
関係会社株式売却損益(△は益)	△32,241	—
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	49,992	1,655
売上債権の増減額(△は増加)	△44,128	△106,404
たな卸資産の増減額(△は増加)	346,766	433,827
仕入債務の増減額(△は減少)	△454,524	319,958
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,073	26,055
その他	133,885	△29,202
小計	3,467,544	1,473,290
利息及び配当金の受取額	128,669	158,039
利息の支払額	△28,685	△27,673
法人税等の支払額	△668,642	△20,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,898,885	1,582,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△213,780	—
定期預金の払戻による収入	264,940	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,464,453	△798,119
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,270	207
投資有価証券の取得による支出	△1,265,109	△318,309
投資有価証券の売却による収入	—	51,384
子会社株式の売却による収入	149,506	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,885,959	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	583,595	—
長期貸付けによる支出	△101,261	△6,773
長期貸付金の回収による収入	—	1,592
その他	△13,744	△31,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,939,995	△1,101,754

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,725,869	14,085,972
短期借入金の返済による支出	△4,638,640	△13,940,000
長期借入れによる収入	650,000	—
長期借入金の返済による支出	△154,596	△173,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△4,107
株式の発行による収入	1,477,500	—
自己株式の取得による支出	△459	△89
配当金の支払額	△210,037	△173,951
少数株主への配当金の支払額	△389,098	△123,221
その他	131	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,460,669	△328,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136,542	105,748
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△716,983	258,352
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,966	1,437,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,983	1,695,747

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	自動車用部品 (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	14,647,958	3,848,749	18,496,708	—	18,496,708
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	579,079	579,079	(579,079)	—
計	14,647,958	4,427,829	19,075,788	(579,079)	18,496,708
営業利益	1,539,351	154,557	1,693,909	242,876	1,936,785

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品・・・自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売

その他・・・陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	自動車用部品 (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,266,604	2,382,169	12,648,773	—	12,648,773
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	23,653	23,653	(23,653)	—
計	10,266,604	2,405,822	12,672,426	(23,653)	12,648,773
営業損失(△)	△132,613	△269,679	△402,293	(36,970)	△439,263

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、類似性を考慮して決定しております。

2 各事業区分に属する主要業務

自動車用部品・・・自動車用エンジンバルブ、自動車用精密鍛造歯車、バルブリフター、NT-VCP、他製造販売

その他・・・陸船用エンジンバルブ、農業・建設機械用精密鍛造歯車、高圧洗浄、シリンダーヘッドの修理、他

所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	13,570,488	4,671,302	254,918	18,496,708	—	18,496,708
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	711,252	298,184	—	1,009,437	(1,009,437)	—
計	14,281,740	4,969,486	254,918	19,506,145	(1,009,437)	18,496,708
営業利益	291,984	1,225,074	254,918	1,771,977	164,808	1,936,785

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、韓国、インドネシア、タイ
 北米…アメリカ
 3 北米のU.S.エンジンバルブコーポレーションはパートナーシップへの投資を行っており投資利益を売上高に計上しており、営業費用は計上しておりません。

所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	8,871,744	2,164,126	1,612,903	12,648,773	—	12,648,773
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	96,299	86,284	—	182,584	(182,584)	—
計	8,968,043	2,250,410	1,612,903	12,831,358	(182,584)	12,648,773
営業利益又は 営業損失(△)	△830,690	436,016	△47,452	△442,125	2,862	△439,263

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、インドネシア、タイ
 北米…アメリカ

海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
I 海外売上高(千円)	4,918,301	1,262,745	270,456	6,451,502
II 連結売上高(千円)				18,496,708
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	26.6	6.8	1.5	34.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア……台湾、韓国、インドネシア、タイ他
 ヨーロッパ……スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
 北米……アメリカ他
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	連結
I 海外売上高(千円)	2,431,157	1,062,356	1,616,989	5,110,503
II 連結売上高(千円)				12,648,773
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.2	8.4	12.8	40.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア……台湾、韓国、インドネシア、タイ他
 ヨーロッパ……スウェーデン、ドイツ、フィンランド、イタリア、フランス他
 北米……アメリカ他
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。